

国が定めた本県の新幹線構想

国は、国土の総合的な発展に資するものとして、フル規格新幹線の路線を定めた基本計画を昭和47年と同48年に策定しています。このうち、昭和48年の基本計画に、本県を通るフル規格新幹線として、「奥羽新幹線」（福島市～秋田市）と「羽越新幹線」（富山市～青森市）が定められています。

フル規格新幹線とは、主な区間を時速200km以上で走り、踏切を設けない直線的なルートによる新幹線で、速達性の向上のほか、雪などの輸送障害にも強く、高い安全性、安定輸送が期待されます。



昭和47年に基本計画に位置づけられた新幹線の路線

東北新幹線	盛岡～新青森	平成22年12月開業	完成に 目処
北海道新幹線	新青森～新函館北斗	平成28年3月開業	
	新函館北斗～札幌	平成42年度ごろ開業予定	
北陸新幹線	長野～金沢	平成27年3月開業	
	金沢～敦賀	平成34年度ごろ開業予定	
	敦賀～大阪	ルート検討中	
九州新幹線	博多～鹿児島中央	平成23年3月開業	
	武雄温泉～長崎	可能な限り前倒して開業予定	

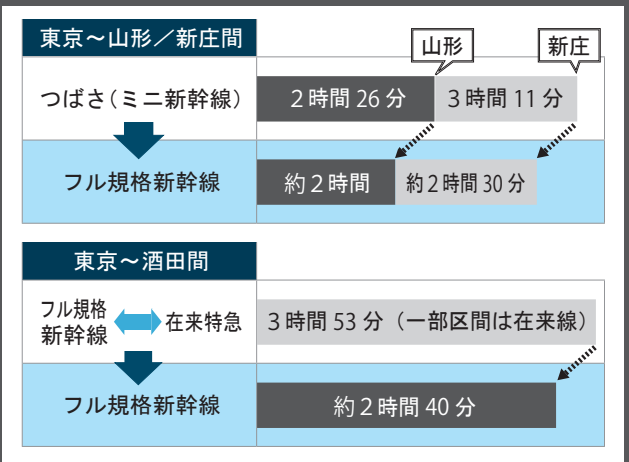
※未着工の区間も一部あります。

昭和48年に基本計画に位置づけられた新幹線の路線

奥羽新幹線	福島～秋田	未 着 工
羽越新幹線	富山～青森	
ほか8路線		
中央新幹線(リニア)	東京～大阪	東京～名古屋 平成39年開業予定

やまがた創生の幹となる「フル規格新幹線」 奥羽・羽越新幹線の早期実現を！

時間短縮効果イメージ



【注】他のフル規格新幹線を参考に試算した最短の所要時間を記載

今こそ求められるフル規格!!

東日本大震災では、太平洋側の鉄道に代わり、日本海側の鉄道が東北と首都圏や西日本とを結ぶ重要な役割を果たしました。

こうした経験を踏まえると、日本海側の奥羽・羽越新幹線の整備によって高速交通ネットワークのリダンダンシー（代替）機能を確保することが非常に重要です。

また、昭和47年に基本計画に位置づけられた九州、北陸、北海道の各新幹線は次々とフル規格で開業し、首都圏などとの移動時間が短縮され、観光客が増加しているほか、観光客の行動範囲も広がる傾向にあります。

フル規格新幹線の整備は地域の活性化へ繋がります。